

新 農業経営士、青年農業士、ViC・ウーマン紹介！

農業経営士 小田 清敬氏 (五戸町)

ながいもとにんにくの高収益野菜を柱に緑肥を組み合わせた輪作による土づくりと優良種子の選抜・維持を実践し、収量の安定化と所得向上を図っているほか、さらに法人化により経営の安定を図っています。産地維持のためには担い手の技術向上が必要と考え、農協等の若手生産者を対象とする研修会で講師を務めています。



青年農業士 水野 浩司氏 (八戸市)

八戸市に移住・就農し、有機 JAS 認証を取得してにんじん等の野菜の生産と、食品加工等に取り組んでいるほか、地域の新規就農者へ技術指導等を行っています。また、八戸伝統野菜である糠塚きゅうりを PR するイベントに積極的に参画しています。



青年農業士 小笠原 隆太郎氏 (五戸町)

ながいも、ごぼう、りんごを主体とした複合経営をしています。ながいもを安定的に生産するため、緑肥を取り入れた地力の回復や収量の増加を図っているほか、作業の省力化やながいも加工業者との契約販売によるリスク軽減等、経営改善に挑戦しています。



青年農業士 平 正弥氏 (五戸町)

水稲、ながいも、ごぼうの生産と精米所の複合経営をしています。畑作においては、緑肥を組み合わせた輪作により品質向上と農薬費の低減に取り組み、水稲では近隣農家から収穫・調制作業を受託し、地域農業の振興に貢献しています。



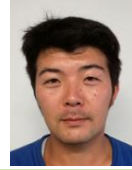
青年農業士 中野 兼一氏 (南部町)

野菜苗栽培を主体にトマト、にんにく、モモの複合経営をしています。中でも、野菜苗生産における育苗培土の配合を研究し、経費節減に努めています。地元の玉掛 4 H クラブでは種籾塩水選等を行い、地域の農業生産に貢献する活動を実施してきました。



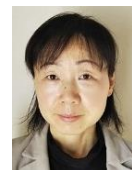
青年農業士 大久保 光氏 (田子町)

葉たばこ、水稲、肉牛(繁殖肥育)の複合経営をしています。家畜人工授精師、牛削蹄師の資格を有し、地域の他農家が飼育する牛の人工授精を引き受けています。将来は、葉たばこからにんにくへの転換を目指し、栽培技術等を修得中です。



ViC・ウーマン 水野 美香氏 (八戸市)

八戸市南郷の産直施設運営団体「ヤッサイなんごう友の会」の事務局を担当し、役員と協力しながら集客力の向上を目指して意欲的に運営に当たり、自身の経営ではにんじんの作付けを中心として、化学肥料や農薬を使わない農業を目指しています。地域内外の加工業者と連携し、にんじんや大豆等を利用した加工品の開発に意欲的に取り組み、さらなる収益の向上を目指しています。



ViC・ウーマン 佐々木 優子氏 (南部町)

就農当初から家族経営協定を締結し、魅力ある農業経営の実現に向けた取組を実践しており、現在はりんごやトマトを中心とした作付けで、高品質な農作物づくりによる所得向上を目指しています。また、規格外品を八戸市内の子ども食堂を運営している団体に寄付するなど、地域貢献活動も行っています。さらに、南部町の農地利用最適化推進委員として、農業委員と連携しながら、担い手への農地の利用集積や集約化、遊休農地の発生防止や解消などを推進しています。



安全な農作業は農業の基本！

三八管内では、毎年農作業事故が発生しています。農作業事故は農業生産上の最も大きなリスクです。

農業機械の操作は、安全確認と予防対策に留意し、トラブルが発生した場合は、まずエンジンを停止させましょう。



農薬は正しく使って「安全・安心」

農薬を使用する際は、使用基準をよく確認しましょう。また、周辺の住宅等に広くお知らせするとともに、農薬が飛散しないよう風の強さや向きに細心の注意を払きましょう。

みどりの通信 令和元年度第1号

〈三八地域県民局地域農林水産部〉

・農業普及振興室
〒039-1101 八戸市大字尻内町字鴨田 7
TEL：0178-27-5111 (代表)
TEL：0178-27-4444 (直通)
FAX：0178-27-3323
・農業普及振興室分室
〒039-0134 三戸町同心町字同心町平 54-7
TEL：0179-23-3264
FAX：0179-23-3274

年度初めに寄せて

当地域に赴任して3年目となる平成31年度は、新元号に代わるのをはじめ、社会の様々な制度や仕組みが改正される予定で、一つの時代の転換期なのだろうと思っています。

本県でも、今年度、消費者起点に立った「攻めの農林水産業」の第4期対策がスタートし、「農林水産業の収益力強化」と「共助・共存の農山漁村づくり」の2つの展開方向に基づき、労働力不足への対応や国内外に認められるブランドの育成など各種施策に取り組んでいくこととしています。

当室においては、「おうとう『ジュノハート』」のブランド化に向けた高品質安定生産の推進をはじめ、「後継者の育成によるながいも産地の維持」や「将来を見据えたにんにく産地の維持」、「軽量野菜の栽培推進」のほか、「新規就農者の育成・確保と農地集積・集約の加速化」や「農山漁村女性による起業活動の強化」などの課題に、農業者や関係機関の方々と一緒に取り組んでいきたいと考えていますので、御理解と御協力をお願いします。そして、甚大な自然災害などに遭うことなく出来秋を迎えられますことを御祈念いたします。

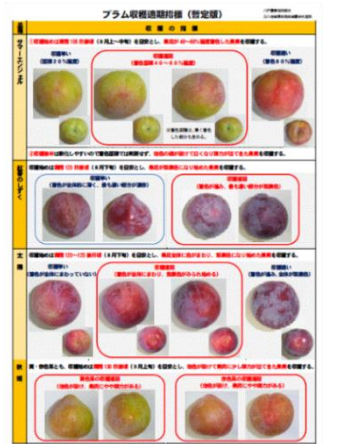
農業普及振興室長 杉田 誠一

すももの大玉果実生産と有望品種の技術支援による産地強化

J A 八戸果樹総合部会プラム・プルーン専門部のすもも生産は、出荷量が増加傾向にあるものの、成らせすぎによる小玉果がみられるほか、近年導入された有望品種では収穫果実の熟度のバラツキや害虫被害が問題となっていました。

このため、大玉果実生産に向けて栽培講習会の開催や栽培暦の作成・配布により摘果等の適正管理の励行を図りました。また、「サマーエンジェル」等の有望品種の導入推進に向けた現地検討会を開催するとともに、果実調査に基づいた収穫適期指標の作成や展示ほを設置して害虫対策の普及に取り組みました。その結果、結実の多い園地では摘果が実施されてきており、主力品種「大石早生」の大玉果率は平成29年、30年とも71%に向上しました。さらに、有望品種の収穫適期が周知されるとともに、虫害の多い園地では交信攪乱剤を導入する動きがみられています。

同専門部の販売額は、近年1億円を超えており、今後も生産量の増加が見込まれることから、さらなる産地の発展が期待されます。



すもも収穫適期指標



サマーエンジェル現地検討会

令和元年度

三八地域県民局地域農林水産部 農業普及振興室 職員紹介

今年度も農業普及振興室をよろしくお願いいたします！！



その他、管内の農業・農村の動きや農業普及振興室の活動状況はこちらをご覧ください！

農業普及振興室ホームページ↓

<http://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kenmin/sa-nosui/>

室長



農業普及振興室長
杉田 誠一

企画担当



総括主幹(副室長)
福士 浩行
(企画担当総括)



主査
松浦 孝幸
(特裁・エコファーマー)



主査
佐々木 暁喜
(強農・担い手交付金・
食品表示適正化)



主査
種市 弥枝
(畜産・農業の
適正使用)



非常勤事務員
伏部内 弘子

農地中間管理機構



機構事業推進員
大久保 聡一郎



機構事業推進員
川守田 貢

農産・花き担当



総括主幹(副室長)
太田 富広
(農産・花き担当総括)



主幹
西館 勝富
(経営所得安定対策・
花き)



主査
坂川 雄亮
(花き・野菜)



技師
油川 慧人
(畑作物・水稻)

野菜・果樹担当



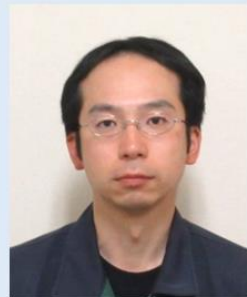
主幹(副室長)
今川 貢
(野菜・果樹担当総括)



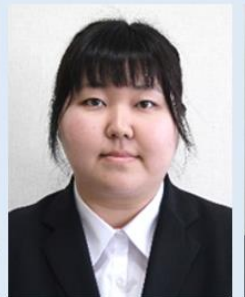
主幹
工藤 秀樹
(果樹)



主幹
松川 佳澄
(野菜)



主査
出町 友玲
(野菜)



技師
福士 苑華
(野菜)



技師
松村 美里
(果樹)



専門員
高谷 護
(野菜)

経営・担い手担当



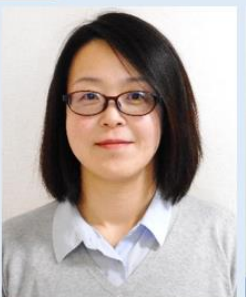
総括主幹(副室長)
小野 嘉久
(経営・担い手
担当総括)



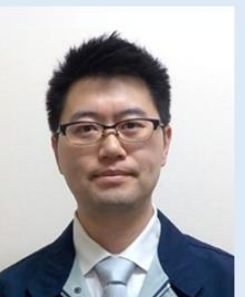
主幹
川島 章
(農業経営・
地域経営)



主幹
関 みち子
(ViC・ウーマン・
農福連携)



主査
木下 肖
(産直組織・
女性起業)



主査
古川 耕一郎
(新規就農・農業経営
士・青年農業士)

三戸分室



総括主幹(副室長)
久保 隆
(三戸分室総括)



主幹専門員
川村 陽一
(水稻・畑作物)



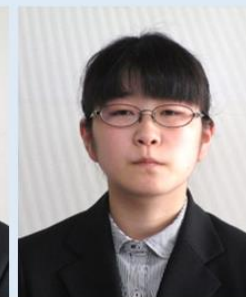
主幹
雪田 隆史
(野菜・花き)



主査
鈴木 健司
(果樹)



技師
石井 翔
(野菜)



非常勤事務員
工藤 瑤子